

サビ児管プロセスにおける 「自己理解」について考える (身体分野)

和洋女子大学

高木 憲司

1

2

- 頸髓損傷
- ALS
- 高次脳機能障害

頸髄損傷者・・・

人生の途中で、重度の四肢麻痺となる。

いわゆる「障害の受容」≡「自己理解」が必要となる。

自らの状況に向き合うことの辛さがある。

「この世で最も不幸な自分」 という思いがある。

頸髄損傷者の動作獲得の例（移乗動作）

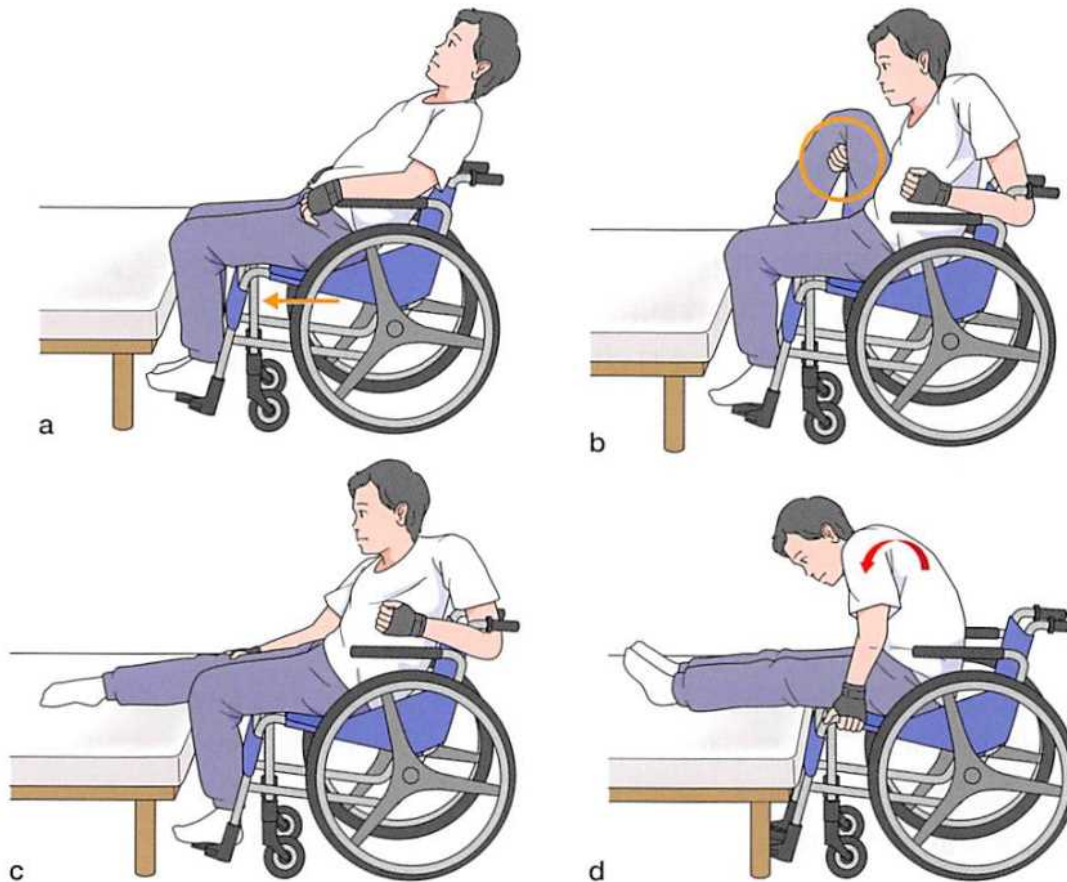


図 5-47 前方移乗の手順

- a：車椅子とベッドを 30 cm くらい離して止め、殿部を前方へずらす。
b、c：下肢をベッドに挙上する。
d：長座位での移動。

脊髄損傷リハビリテーション
マニュアル第3版
神奈川リハビリテーション病
院 脊髄損傷リハビリテーショ
ンマニュアル編集委員会・編
より

【実践】 ベッド⇄車椅子の移乗方法をご紹介します！！(脊髄損傷)



車椅子・ベッドの移乗が難しい状態のK君

何度やってもできる気がしない

足上げに3年かかる

「もう移乗動作訓練はやらない！」

「バスケットやる！」



車イスツインバスケットボール



ALS

2022

5/21

14:00 — 17:00 (開場 13:00)

会場には休憩のための別室を用意しています

ALSと共に生きる岡部宏生さんをお呼びして

びわ湖のほとりで「生きる」を語る

ALS当事者の 岡部宏生さん (NPO 法人「境を越えて」理事長) を滋賀県大津市にお迎えし、仲間たちと語り合う会を開催いたします。ぜひご参加ください。

無料 要申込

ご興味のある方などでも大歓迎
下記 QR コードからお申込み下さい。
オンラインでのご参加ご希望の方は
下記までお知らせください。

BIWAKO DE KATARU
BIWAKO DE KATARU
BIWAKO DE KATARU
BIWAKO DE KATARU
BIWAKO DE KATARU



場 所 びわこ共生モール

滋賀県大津市大萱 7-6-43
JR 瀬田駅より琵琶湖方面へ 1.5 km
駐車場あり

お申込み
お問い合わせ

びわこ共生モール
大津市
越野まで
tel:076-4093-8296
mail:8888mondodo@gmail.com

呼びかけ人

森田 誠 (元・一般社団法人 代表理事)
新代田 一 (公益財団法人代表)
藤野 祥 (公益財団法人代表理事)
Design by hina

◇情動制止困難の例

これは次のような症状です。

こだわりが強い

介護をされている奥さんが、子供の発熱で、夜中に病院に連れて行って、帰宅。患者の旦那さんの第一声が「足の位置を直して」というものであった。

奥さんは本当にこの旦那さんの言葉に傷ついたというようなことです。本来であれば、「お疲れ様、子供の具合はどう？」というところですが、そうではなくて、足の位置にこだわった発言になってしまうのです。

怒りの表出が強い

そんなにたいしたことでもないのに、
非常に激しく怒りを表したりすることがあります。

思いやり、気遣い

介護者の食事の時間について考えずに、休憩なしでケアをさせてしまう。

など

◇情動制止困難を抑える対処法(アンガーマネジメント)

ではこういうときにどう対応しているかをお話しします。

1. この介護者さんがいなくなったら、自分の生活はどうなるかを考えるようにする。
2. 自分の生活の中で優先順位を明確にし、
介護者がいなければ自分のやりたいことが出来ないことを考えて我慢する。
3. その介護者に何か腹の立つことがあっても、普段はどうなのか？
感謝しているならベースをそちらに置き、何かあったときは、その人との関係はどうだったかを常に思い出すようにする。
【幸いと言うのも変な話ですが、私たちはすぐにコミュニケーションは取れないので、冷静になる時間を稼ぐことができます。】
4. 過去の自分ならこの場合怒っただろうか、と自問自答する。
それでも怒るときは、怒り方や言葉は自分らしいかを考えるようにしている。

<https://www.youtube.com/watch?v=JzMM-fLqLd4>



患者の多くは 病気の過酷さから
日々 生きる気持ちが揺らぐ

高次脳機能障害



障害のある自己に向き合い、乗り越えてきた人たちがいる

先行事例を知る、ピアのチカラ

支援者の価値観を押し付けない

情報の提供

“待つ”

前を向いた本人の気持ちの後押しをする
共に喜びを分かち合う